

令和7年度 第5回 藤沢市立羽鳥中学校 学校運営協議会会議録

開催日時 2026（令和8）年2月25日（水）13時30分開会

場所 藤沢市立羽鳥中学校 図書室

No	氏名		出欠
1	青木 茂道	青少年育成協力会会長	○
2	小河 愛由美	三者連携・民生委員	○
3	竹尾 友子	親鳥の会	○
4	越 美紀	つながる会 元副代表	○
5	田口 英太郎	明治市民センター長	○
6	窪田 園子	郷土づくり推進委員	○
7	富田 務	元羽鳥中学校長	○
8	秋田 典子	児童委員	○
9	三觜 たか子	民生委員	○
10	若林 理恵	藤沢市社会福祉協議会明治地区担当 CSW	○
11	市村 慶子	社会福祉法人いきいき福祉会ラポール城南	○
12	伊藤 由紀子	元PTA会長	○
13	城戸 みゆき	PTA会長	欠
14	深津 礼子	本校校長	○
15	溝尾 昌也	本校教頭	○

次第	<p>1. 開会</p> <p>青木会長 本日もよろしくお願ひします。議題の(3)については、メンバーが来年度も変更はありませんので、本日は省略させていただきます。</p> <p>深津校長 次年度の準備も含めて、忙しい毎日を過ごしている。ここ最近、様々な方とお話する機会があつて、気づきも多い毎日である。</p> <p>2. 議題</p> <p>(1) 令和7年度学校評価について</p> <p>溝尾より、冊子(データ、まとめ)を用いて説明。</p> <p>竹尾委員 地域の連携の課題については、我々が力になっていきたい。</p> <p>伊藤委員 運営協議会においても、昨年度から地域の力として何を還元できるかは話し合ってきた。実際にこの場で議論している内容が、学校に還元できているのか。</p> <p>青木会長 カーテン清掃や花の会など、学校に還元できることは引き続きやっていきたい。地域との連携を大切にしていきたい。</p> <p>市村委員 悩み相談では、誰に相談しているのか? →教師や仲間、家族など様々である。</p> <p>秋田委員 学校独自の教育活動については、期待度が高い故の数字であると実感した。 深津校長: 学校独自の教育活動について、コロナを機に、活動を見直している昨今、新しいことを始めるには少しエネルギーも必要である。地域の力も借りていきたい。</p> <p>竹尾委員 独自という言葉はどう捉えるかである。学校だけで独自を打ち出すのは難しいのではないか。</p> <p>窪田委員 生徒会スローガン(素敵・快適・家族的)は古き良き時代のものであると認識している。社会的背景が変化している中、そこをどう地域として捉えて学校運営協議会として、課題を捉え克服に向けて進んでいければと思う。自習室開放も一歩だと思ふ。</p>
----	---

小河委員

学校独自の特色は他との比較がないので難しい。3年生の卒業日課で、救命講習を実施できるのは半数程度（19校中）。防災意識を高めて卒業してほしい。その視点にも目を向けてほしい。

富田委員：学校は幸せだと思う。地域の方からたくさんの意見を頂ける環境にある現在はとてもいい時代である。

（2）令和8年度グランドデザインについて

深津校長

学校目標は変更なし（20年以上変わらない）、重点目標は、今年度の「自立した学習者を育てる」から「支援教育の充実」を新たに設定。今年度ははっぴールーム（不登校支援に特化した別室）を地域の協力の下、かなり充実した活動として推進することができた。次年度も個に応じた教育の充実を軸に、引き続き活性化していきたい。また、目指す生徒像では、「多様性を受け入れられる生徒」を新設した。経営上の重点に掲げる、業務の効率化については、今できることはやってきているが、なんとか人を増やしてほしいと強く願っている。また、今年度途中から、定時退勤日を取り入れたが、効果的であると実感し、次年度以降も保護者の理解を得ながら進めていきたい。

（3）学校運営協議会のあり方と今後について

省略

3. その他

田口センター長

市民センター4階ロビー利用状況報告。アンケート提出34件（12月から2月）うち、羽鳥中学校32件。3年生、2年生多い。集中できて良かった等肯定的な意見多数。使い方もとてもよいと感じている。一方、音が気になる等に要望もあった。次年度以降も方向性を確認しながら、進めていきたい。

青木会長：時々のぞいたが、遊びに来る小学生もいたが、中学生が勉強している場面も見ることでよかった。センターがサブ拠点になっているところがよかった。

窪田委員

郷土づくり会議において、カレンダーを作成している。学校行事も掲載しているので、活用してほしい。

小河委員

朝から利用している実績には驚いた。夕方からが多いのかと思っていた。

秋田委員

センターの居場所と併せて、かるがも等のみんなの居場所等も広報していきたい。

市村委員

かるがもの居場所にも諸学生がメインではあるが、中学生が来た。うまく広報していきたい。

越委員

中学生は多感な時期ではあるが、学校行事の充実は素直にうれしい。かるがもの居場所がどうしても低年齢化している。集中したい環境を確保する必要もある。藤沢市役所本庁舎のフリースペースはなかなか人気があり、とれない現状、センターの取り組みは長く続いてほしい。

若林委員

はっぴールームへの理解が進んでほしい。そのためには、そのルームの理解が先生方で共有して行ってほしい。センターの居場所事業はとても大きな前進と捉えている。

三觜委員

不登校生徒の居場所の安心感については、先生と生徒との良好な関係が必要不可欠である。羽鳥中の教育方針にはとても好感が持てる。センターの居場所についても教育効果を感じる。

4. 今年度の会議日程について（予定）

第1回 2026年 5月27日（水） 13:30 ～ 本校 図書室

第2回 2026年 ~~7月—8日~~（水） 13:30 ～ 本校 図書室

→ **7/15（水）へ変更**

第3回 2026年10月14日（水） 13:30 ～ 本校 図書室

第4回 2026年12月 9日（水） 13:30 ～ 本校 図書室

第5回 2027年 2月24日（水） 13:30 ～ 本校 図書室

閉会